



「笑顔とつながり」

# 永田台

サステイナブルスクール

No.571 6月号  
横浜市立永田台小学校  
TEL(714)4277  
令和5年5月31日



進んであいさつ  
笑顔あふれる  
住みよいまちに



## 表現をすることのすすめ

副校長 藤澤 達

先日、東京ビッグサイトで行われた「デザインフェスタ」というイベントを見学しました。デザインフェスタとは、プロ・アマチュアを問わず、「自由に表現できる」アートイベントです。会場では、年齢や国籍、ジャンルや形式に縛られずに集まったアーティストたちがつくり出す素晴らしい作品との出会いを楽しむことができます。アクセサリーやファッション、雑貨、絵画や立体作品、映像作品などじつに多くのオリジナル作品で、広大な会場中が埋め尽くされ、展示だけでなく販売をしている場合は、気に入った作品をその場で購入することもできます。また、ダンスやファッションショー、楽器演奏、演劇などのライブパフォーマンスや創作料理のフードエリアなどもあり、創作活動あるいは表現活動の多様性と素晴らしさを存分に味わうことができます。出展者や参加者の溢れ出す想いでつくられたキラキラ空間に、終始感動させられどおでした。

さて、「表現する」ということを、私はとても大切なことだと考えているのですが、皆さんはどう思われるでしょうか？表現力があると、自分の思いや考え、感情を素直に相手に伝えることができるので、信頼や安心感を得やすくなるのではないかと思います。では、お話の上手な人や文章の巧みな人だけが表現力のある人なのかと言えば、そうではありません。先述したように、表現主題も表現方法もじつに様々で、ひよっとしたら無限にあるのではないかと思います。例えば感謝の気持ちを表すときに、その場でスピーチをする人もいれば、手紙に書く人もいます。絵に表す人もいます。ダンスや音楽で表現する人もいます。

しかし、表現をすることの根源には、「自分のことを分かってもらいたい、自分の気持ちを伝えたい」という強い思いが共通して存在していると考えています。4月から永田台小学校の一員として2か月、共に活動させていただいていますが、永田台小学校には、面白い絵を描く子や字がとても上手な子、あっと驚くようなダンスパフォーマンスを見せてくれる子が沢山います。みんなとても個性豊かでいろんな創造力の持ち主です。

子どもたち全員を等しく、一人ひとりを大切な個として尊重することで、みんなが自分らしさを見つけ、自分の良さに気付けるようにしたいものです。自分らしさを認められることが自信になり、自信はやがて精神的な自立にもつながっていくことでしょう。

子どもたち一人ひとりが自分らしさに自信をもって、想いを発信していける表現者であるよう見守っていきたいと思います。